



2020年1月コシツェ国立劇場バレエ団入団

広実 慧様

Kei Hirozane



海外でどうしてもバレエを学びたく、日本で行われたビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)のオーディションに参加しました。すぐに留学の決意ができたのは、カナダから来日されたブライデン先生のレッスンがとても印象的だったからです。2年間のブリッジプログラムではバレエの基礎技術だけでなく、栄養学や解剖学、ヒストリーなどダンサーとして必要な知識を教えてくださいました。また、バレエ団のオーディション準備に必要な経歴書やメールの書き方、ビデオや写真の



撮り方なども学ぶ機会があり、とても充実した日々でした。卒業時にはディプロマ(卒業証書)も取得しました。VAB卒業後、日本のバレエ団で一時踊りましたが、海外のバレエ団、特に本場ヨーロッパのバレエ団で踊りたいという強い思いは消えず、ウラジーミルマラーホフ氏・針山愛美様が率いるプロジェクトカンパニーに所属しながら、海外の正規バレエ団入団を目指してオーディションを受け続けました。海外のバレエ団にメールでアポをとる、海外の知らない街で宿泊しオーディションを受けに行く、落ちても落ちてもまた次のオーディションにチャレンジできたのはVABで学んだおかげです。私はVABの

先生方に色々な国のダンサーと異国の地で一つの作品を創り上げる素晴らしさを教えて頂きました。私は念願が叶い今はスロバキアにあるコシツェ国立劇場バレエ団でソリストとして踊っています。

ビクトリアアカデミーオブバレエで学んだバレエダンサーとしてのあるべき姿を忘れずにこれからもプロとして頑張ります。

